

2016年度

一般財団法人東京マラソン財団
事業計画書及び予算書

2016年3月

一般財団法人東京マラソン財団

法人の概要

1 設立年月日

平成 22 年 6 月 30 日 一般財団法人東京マラソン財団 設立

2 事業の概要

この法人は、東京マラソンを安定的に運営し、国内外から多くのランナーが集う世界最高水準の大会へと発展させるとともに、ランニングスポーツの普及振興を通じて、都民の健康増進と豊かな都民生活の形成に寄与することを目的として、以下の事業を行うこととしている。

- (1) 東京マラソンの企画運営に関する事項
- (2) 東京マラソンの魅力を向上させるための事業
- (3) ランニングスポーツの普及振興に関する事業
- (4) その他、この法人の設立目的を達成するための事業

3 基本財産

8. 8 億円

東京都出捐金 8 億円

公益財団法人日本陸上競技連盟出捐金 8 千万円

目 次

2016 年度事業計画及び収支予算

<2016 年度事業計画>

I	経営方針	1
II	事業体系	2
III	東京マラソン 2017	3
IV	オフィシャルイベント	5
V	東京マラソン財団公式クラブ「ONE TOKYO」	6
VI	チャリティ事業	7
VII	関連団体連携事業	7

<2016 年度収支予算>

	2016 年度収支予算	8
--	-------------	---

2016 年度事業計画

I 経営方針

2016 年度の事業実施に当たっては、東京マラソンを通じたランニングスポーツのさらなる発展を目指すとともに、東京マラソンを世界最高峰の大会へと成長させ、その地位を強固なものとするため、競技性の改善や大会としての付加価値向上の観点からフィニッシュ地点及びコースの変更を行う。

変更にあたっては、これまで 10 年の間に培った経験を最大限活かし、関係者が一丸となって、運営方法の抜本的な再構築を実施するとともに、大会参加者やボランティア、観衆にとって心に残る大会となるよう、新たな東京マラソンに相応しい大会運営を目指す。

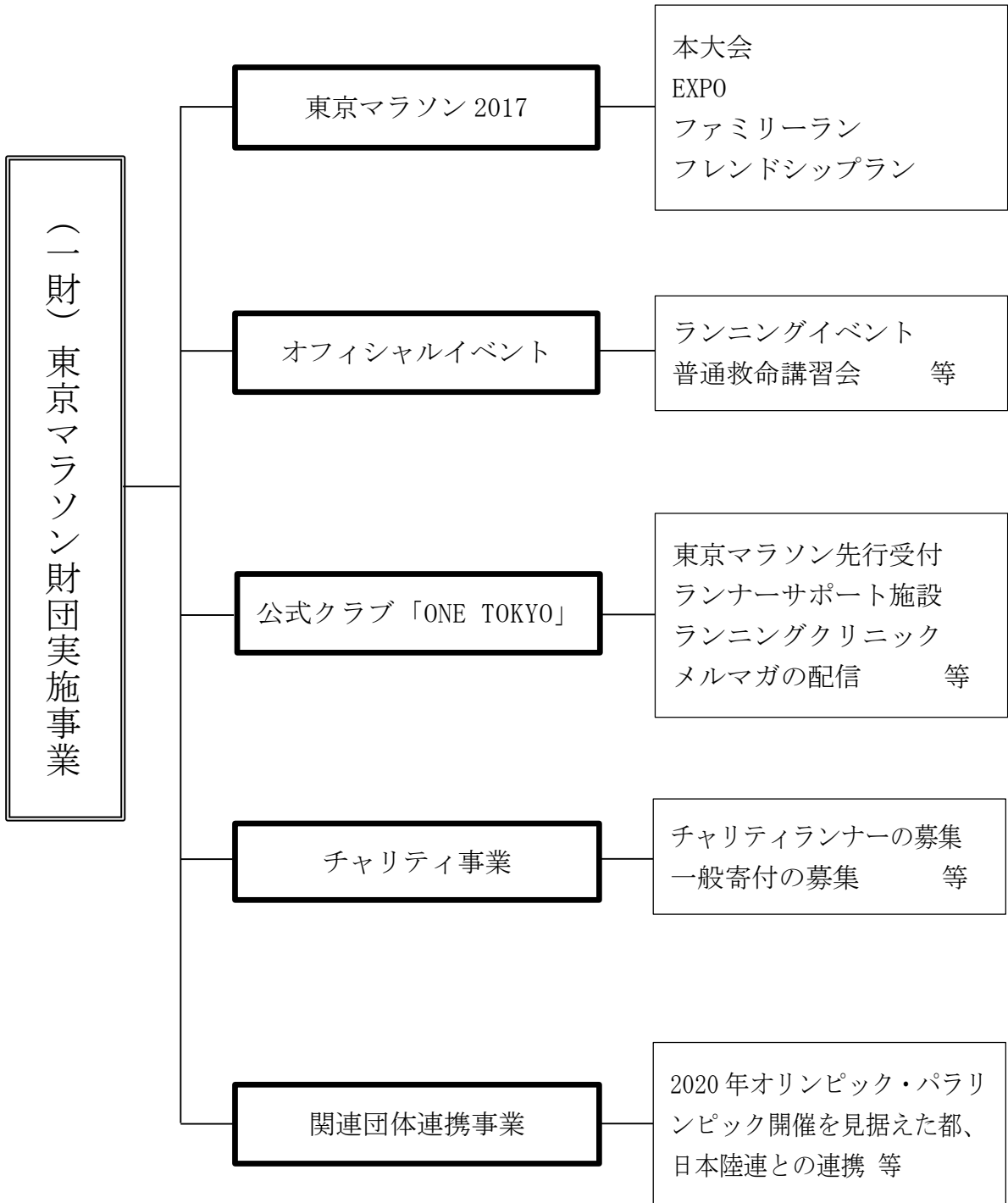
また、2016 大会に引き続き、警備や医療救護、危機対応の強化を図り、より安全・安心な大会運営に努めていくとともに、ボランティアをはじめとした運営方法の不断の見直しを行い、2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催も見据えた事業展開を図る。

その他の事業として、東京マラソン財団公式クラブ「ONE TOKYO」の会員サービスを充実させるとともに、オフィシャルイベントの開催や、ランナーサポート施設「ジョグポート有明」の活用などにより、より多くの市民にランニングの機会を提供していく。

また、社会貢献活動の一環として、チャリティランナーの募集を通じた活動を中心にチャリティ活動を実施する。実施に当たっては、スポーツレガシー事業をはじめとした寄付事業の充実を図るほか、より多くの市民が寄付に親しみを感じ、気軽に参加できる取組を行うなど、東京マラソンを通じた寄付文化の醸成を図る。

これらの事業を確実に実施するため、当財団の運営に当たっては、財源の確保と経費縮減の取組みを進め、安定的な経営基盤を確立するとともに、経営の透明性の向上を進め、より多くの市民の理解と協力が得られるよう努めていく。

II 事業体系



Ⅲ 東京マラソン 2017

競技性の向上や大会としての付加価値向上の観点からフィニッシュ地点をこれまでの有明東京ビッグサイトから東京駅前・行幸通りに変更し、併せて、過去 10 年間の東京の街並みの変遷などを踏まえた新たなコースに変更を行う。

変更にあたっては、東京都を始めとする関係自治体のほか、コース沿道の町会や関係団体等と協力し、円滑な大会実施を図るとともに、これまで以上に国内外のトップランナーと市民ランナー、大会を支えるボランティアや沿道の観客が一体となった大会運営を目指す。

また、2016 大会に引き続き、警備や医療救護、危機対応の強化を図り、より安全・安心な大会運営に努める。

1 東京マラソン 2017

項目	内容	備考
日程	2017年2月26日(日)	2月第4日曜日
時間	9時05分～16時10分	
場所	東京都庁～飯田橋～神田～日本橋～浅草雷門～両国～門前仲町～銀座～高輪～日比谷～東京駅前・行幸通り	
マラソン	35,500人	19歳～
10km	500人	16歳～18歳 障害者及び移植者

2 東京マラソン EXPO2017

項目	内容	備考
日程	2017年2月23日(木) ～25日(土)	
時間	11時00分～21時00分	※最終日は20時まで
場所	東京ビッグサイト	

3 東京マラソンファミリーラン 2017

次代を担う子供たちに東京マラソンの魅力を体感し、スポーツに親しむ機会を提供するためのイベント

項目	内容	備考
日程	2017年2月26日(日)	予定
時間	15時30分～16時00分	2016大会実績より
会場	未定	
規模	1,000組2,000人	2016大会実績より

4 東京マラソンフレンドシップラン 2017

東京マラソンに参加するため、来日した外国人へのおもてなしや交流等を目的としたランニングイベント

項目	内容	備考
日程	2017年2月25日(土)	予定
時間	10時30分～13時00分	2016大会実績より
会場	未定	
規模	1,500人	2016大会実績より

5 ボランティアリーダー研修兼選考

東京マラソンを支える1万人のボランティアが機動的に活動するべく、ボランティア運営の中核となる「ボランティアリーダー」を養成する。

研修においては、ボランティアリーダーの役割、コミュニケーションについての講義及び体験型の実習を通してリーダーの意識統一を図る。

IV オフィシャルイベント

1 ランニングイベント

マラソン大会に出場するための準備の機会や、ランニングの魅力を広く普及することなどを目的して、ランニングイベントを開催し、多くのランナーに走る機会を提供する。

2016年度については、下記のとおり実施する。

(開催予定)

日 時	名 称	場 所	備 考
5月14日	3時間リレーin 有明・お台場	臨海副都心シンボルプロムナード 公園特設ランニングコース	リレー ファンラン
10月中旬	未定	葛飾区木根川橋 少年野球場(予定)	ハーフ マラソン

2 普通救命講習会

マラソンは健康増進や走りきる達成感など楽しいスポーツである反面、ランナー自身の体調や気象条件によっては、危険なスポーツにもなる。ランナーやボランティアなど多くの者が適切なBLS（一次救命処置）を実施できるよう、心肺蘇生やAEDの使用方法を教える講習会を開催する。

V 東京マラソン財団公式クラブ「ONE TOKYO」

「ONE TOKYO」は、東京マラソンを中心とした人々が集うプラットフォームとして、「ともに走るよろこび」をあらゆる人々に届けるため、各種情報提供、ランニングイベント、講習会など魅力的なコンテンツを提供していく。

2016年度は、現在の会員に対して、より一層魅力的なコンテンツを提供し、会員数の維持、向上を図る。

会員区分	会員数（2016年2月末現在）
プレミアムメンバー（有料）	約3万人
クラブメンバー（無料）	約41万6千人

1 ランナーサポート施設「ジョグポート有明」

ランニング事業の推進に不可欠な「ONE TOKYO」会員を中心としたランナーとの年間を通じたコミュニケーション拠点として、ランナーサポート施設を運営する。

2 ランニングクリニック等

「ONE TOKYO」会員向けランニングクリニックや、「ジョグポート有明」を活用したランニングイベントなど会員向けサービスを充実させる。

VI チャリティ事業

家族、友人等に寄付への協力を呼びかけ、寄付先事業を支援するクラウドファンディングや「スポーツレガシー事業」の一層の周知を図るとともに、寄付先事業とも連携し、より多くの寄付者、寄付金を募り、社会に貢献していく。

項目	内容
寄付募集期間	2016年7月1日～2017年3月31日
チャリティランナー	募集期間：2016年7月1日～11月中旬 ※先着順 募集人数：3,000人 募集要件：10万円以上寄付し出走を希望した方

VII 関連団体連携事業

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催を見据え、東京都や日本陸上競技連盟とも連携しながら事業を運営していく。

2016年度 収支予算案

(円)

会計	科目	2016年度 予算	2015年度 予算	増減	主な増減理由
チャリティ事業会計	経常収益	403,000	0	403,000	
	経常費用	29,245,000	25,800,000	3,445,000	
	経常増減額	△ 28,842,000	△ 25,800,000	△ 3,042,000	
	経常外増減額	0	0	0	
	当期一般正味財産増減額	△ 28,842,000	△ 25,800,000	△ 3,042,000	
スポーツ普及振興事業会計	経常収益	3,053,317,000	2,439,383,000	613,934,000	・協賛金収益の増(300,000千円)
	経常費用	2,798,520,000	2,237,730,000	560,790,000	・安全対策、警備強化経費の増(100,000千円) ・コース変更経費の増(400,000千円) ・10回記念大会関連経費の減(▲100,000千円) ・アフターランイベント経費の増(50,000千円) ・バイクーズサイト改装費の増(20,000千円) ・エントリーシステム等の調査・設計・開発経費の増(80,000千円)
	経常増減額	254,797,000	201,653,000	53,144,000	
	経常外増減額	0	0	0	
	当期一般正味財産増減額	254,797,000	201,653,000	53,144,000	
ランニングサポート事業会計	経常収益	178,130,000	175,712,000	2,418,000	
	経常費用	129,150,000	96,062,000	33,088,000	・シンボルプロムナード公園ランニングコース計測機器設置経費の増(20,000千円)
	経常増減額	48,980,000	79,650,000	△ 30,670,000	
	経常外増減額	0	0	0	
	当期一般正味財産増減額	48,980,000	79,650,000	△ 30,670,000	
法人会計	経常収益	6,741,000	4,180,000	2,561,000	
	経常費用	281,676,000	259,683,000	21,993,000	
	経常増減額	△ 274,935,000	△ 255,503,000	△ 19,432,000	
	経常外増減額	0	0	0	
	当期一般正味財産増減額	△ 274,935,000	△ 255,503,000	△ 19,432,000	
合計	経常収益	3,238,591,000	2,619,275,000	619,316,000	
	経常費用	3,238,591,000	2,619,275,000	619,316,000	
	経常増減額	0	0	0	
	経常外増減額	0	0	0	
	当期一般正味財産増減額	0	0	0	